

# 果樹苗木の植え方と

## 取扱いの注意

白 帷 喜 一

果樹栽培を行うに当たり、その地帯の適種であるとともにその優良品種を選定し、正確な優良苗木を求めるることは第一義に重要なことで、この良否は果樹栽培の成否を決定することであると申しても過言ではない。ついでその苗木の植え方が極めて大切なことである。すなわち如何に優良苗木を求めてその取扱いが悪かつたり、また植付け方に注意を怠るとせつかくの苗木も伸長悪く、氣息奄々たるものあり、甚だしきは枯死せしめているのもしばしば見聞するところである。

このような場合多く種苗業者に鉢先が向けられ、不良苗木を供給したと一方的に批難されることが多い。またこれとは別に、

去年の十五号台風の被害により各地にかなり林木の風倒を生じ、また果樹園においても桜桃を初めりんご、梨等の風倒木が相当出現し大きな損害を受けたのである。もちろん北海道における十五号台風の暴威は地帶によつては如何なる策もこれを防ぎ得ぬものがあつたが果樹の根群ともに倒された木を検討すれば多くは心根の発達甚だ不良のものであつて、すなわち心根の発育が不

適当な状態の土地のものが多く倒されているものを見られたのである。例えば地下水の高い園地のもの、また植穴の土壤の状態が不良なものが判然と心根の發育悪く倒伏している。これを考察すると苗木の取扱い方並びに植え方には将来のために十分注意し万全を期することが肝要である。

農家の方々で行商等種苗販売の資格を持つない不良業者から苗木を求める者があることを聞くが、多年生で数十年もそれに期待する果樹苗木をかかる不信用な業者より購入する方に責があることで、信用のある種苗業者は決して衰弱した苗または枯死した苗木等販売することはないと断言したい。このような点についても、十分検討して再び災を受けないよう注意したい。

### 土地の選び方

果樹を植え付ける土壤は排水が良好で肥沃な土壤ほど望ましく、その成績の良いことは勿論であるが、多年生で相当の栽植距

離をもつて植え付けられる樹木においては軟などみ類で埋設する必要があるが、軽鬆

ながら地下水の高い土地、排水の不良な土地は果樹の生育には極めて不適当と申すべきである。ただ地下水がある程度高くとも排水が良く、新陳代謝のよく行われている圃は樹種によつては必ずしも悪くはない。

わが国の果樹は傾斜地に植えられているものが多き。傾斜地は一般に排水良好であり、また土地の利用の面から見ても望ましいことであるが、傾斜地は一般に瘠薄などころが多く、また作業に不便であり、将来生産費の低減を要請される時、表土の深い肥沃な土地に比較しては不利なことは勿論である。

果樹栽培の知識の幼稚であつた時代はむしろ果樹は肥沃地は成績悪いものとして瘠地を適地と考えたようであるが、今日では各地の事例を見ても果樹は肥沃地の栽培ほど進展している。肥沃地の栽培樹は、発育良好で、病害に対する抵抗も強く、また収量多く、生産費が少なくして優良果が多く生産され、一般に良好な成績を挙げている。しかし所有地の関係上、経営全体の土地の配分上地力の低い土地に果樹を植えなければならぬ場合もある。

表土の深耕は全園を一度に深耕することは労力、その他の事情で実行は困難であるから、まず最初は植付け位置を中心として機物を入れて、果樹の根群の発達を助け、養水分の吸収量を多くする体制を整える必要がある。

表土の深耕は全園を一度に深耕することは労力、その他の事情で実行は困難であるから、まず最初は植付け位置を中心として機物を入れて、果樹の根群の発達を助け、養水分の吸収量を多くする体制を整える必要がある。

約五十年前米国ベイレー氏（一九〇九年）は植穴は広く互に大きくなり、その土層の硬い所ほど穴の容積を大きくして、膨脹などみ類で埋設する必要があるが、軽鬆且つ深い土層の場合には苗木の根を入れるに足る大きさで十分であるといつてゐる。またチャンドラー氏（一九二五年）は植穴は米国で果樹の根群が可及的に土中深く貫通蔓延し得るように深く掘るか、またはダ

イナマイトにより爆破して深い穴を作るこ  
とが推奨されていると述べている。

今より二十数年前、満洲の満鉄熊岳農業実習所の果樹園は植穴をダイナマイトにて爆破して苗木を植付けられたが果樹の发育はまことに良好であった。

わが国においても藤井徹氏（明治九年）、

はその著書に植付穴の章において「植付けに先立つことおよそ二～三ヶ月以前より植付け穴を掘り置くべし」と述べ、果樹の深根性に応じて穴の深さ

を変え、栗、胡桃には 第一図

四～五尺とし、梨、梅、

葡萄では三尺くらいに

し、幅は樹の大小に応

じて切詰めた根先より

三尺くらい、つまり直

径四～五尺の範囲で掘

ることを主張してお  
り、植穴は広く、深く  
掘ることの利は古くよ  
り内外において唱えら  
れたのである。

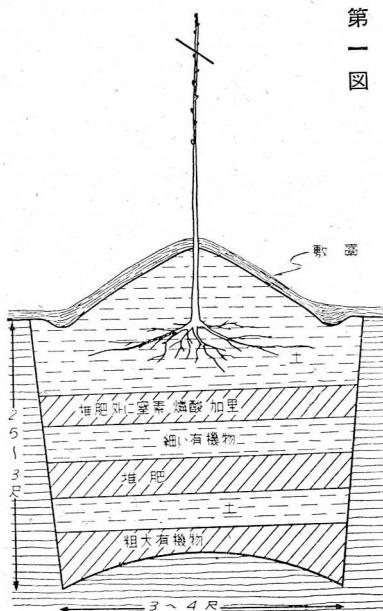
しかるにわが国における植穴の実情は長  
い間、直径二～三尺、深さ一～二尺で行わ  
れ、最近になつてまた植穴を広くし深耕を行ない、粗大な有機物の施与を唱導されて  
いる。

#### 植付け時の注意

植穴についてはわが国においても、米国においても等しく広くまた深くすることが唱導されながら、あまり行われなかつたことについて考へるべきで、現今唱導される

方法は理想的に良好な方法であるが、この深耕、また粗大有機物の埋没は実施上にお

いていろいろの欠点がある。この注意を欠くと方法は理想的に良好であつても、事実において失敗することが應々見聞されるところである。植え方は指導者のいつ通りにやつたのに、活着が悪いからこれは苗木が悪いのであると、その深耕、粗大有機物埋没に対する注意を欠いて、苗木に責を嫁すことあり、指導者においてもその方法を



#### 一 乾燥 防止

講習する場合、それに伴なう注意を十分認識するようしなければ、かえつて不良な結果を生じている。

このことの防止のためには前年に植穴を作り冬季間土をおちつかせ、翌春植付けることが最も望ましく、藤井氏が植穴を二、三ヶ月前に掘るよう注意されているごとく本法においてはよほど留意しないと深植となることが多い。昭和九年前述の満鉄熊岳城農業実習所のりんご樹が甚だしく根頸寒害を受けたのを調査せるに植穴をダイナマイトで爆破した箇所に植付けられたもので

水の上昇が行われ難くなる。そのために乾燥の害に見舞われる。ことに北海道のようであるから土壤の毛細管が断たれ、地下に春季乾燥の多い地方にては十分のこと留意し、有機物の間に土を入れ、踏み固めながら十分灌水することを行わなければならぬ。灌水が不十分であると乾燥のため活着を損じいかに優良な苗木でも衰弱し、甚だしきは枯損せしめることになる。

新方法においては灌水を十分に行わなければむしろ浅耕より活着はもちろんその年の発育が不良である場合が多いことを知るべきである。

#### 二 深植えの害

深耕と有機物施用とを行う新植に当つてとくに警戒することは深植えの害である。

土は掘り出されると相当容積を増すことは

一般に承知の事実である。植穴内の有機物の分解並びにその土壤のおちつきにつれて

次第に沈下し、そのため苗木を適切に植付けたとしても往々苗木が深植を行つた状態になり、そのため樹勢をいちじるしく

損する場合がある。したがつて深耕の程度の大きいほど、また有機物の投入量の多いほど高植状態にし十分乾燥を防ぐことに留意すべきである。

このことの防止のためには前年に植穴を作り冬季間土をおちつかせ、翌春植付ける

ことが最も望ましく、藤井氏が植穴を二、三ヶ月前に掘るよう注意されているごとく

本法においてはよほど留意しないと深植とな

る。以上のことによれば、かえつて不良な結果を生じる。

このようにして発育が一年遅れるか、甚だしきは枯死することになり思わずの失敗をきたしているのを見聞するがとくに留意すべきことである。

#### 三 排 水

植穴の深耕を行えば園地の状況によつて底部に水がたまる危険がある。岩盤のある傾斜地や平坦地ではとくにその懸念があるから穴底の中央部は高くし、周囲を低くす

る必要がある。

立派な元の根は殆ど発育せず、地際より新た根が発生し、あたかも新たに挿木を行つたようになり、したがつて苗木は遅くな

死し、弱々しい不定芽が僅かばかり伸びるようになる。

未熟な有機物を与えるとその腐敗に当つて土壤細菌の活動が行われるが、その際窒素を消費することになり、一時的に窒素飢餓に見舞われることがある。ために有機物を多く用いる場合にはそれをともなつて、窒素肥料を併用することを忘れてはならない。

#### 四 窒素飢餓

以上の事項をよく留意して成功を期して

欲しい。今植穴の深耕と有機物施用の方法を図示して概説すればつきのようである。

第一図のよう、直径三～四尺、深さ二尺

で、踏みかたため、灌水し、土を落ちつかせ、ついで堆肥並びに窒素、磷酸、加里肥料を少

量混じていれ、土とよく混和し、土をかけ

い場合が多い。

てその上に苗木を植える。苗木は浅植が望ましく穂木の部分が後に地平面以下になる

一 苗木到着後相当期間倉庫、納屋等にい  
れて放置してあつた場合。

ようでは悪い。その苗木が前に生育しておった程度より浅いくらいに植え、根は自然状態に丁寧に伸ばし覆土したる後足で踏み苗木を落ちつかせ、その後十分灌水し、その水が全部浸透した後残りの土を饅頭形に覆土し、なお旱魃を案ぜられるようであれ

この場合外部の根が土に接している苗木は良好なるも内部の土に接しない苗木は全く乾燥状態におかれ活着を悪くする。

この餓頭形の土は苗木が発芽し乾燥の恐れがなくなつたら取り除き水平に土をならす。

以上のように乾燥と深植に注意し、初めの踏みかためと灌水を十分に行なうことが從來の浅掘り穴に較べ特段の必要がある。

苗木は根を乾燥させることが最も弱ります。そのため、特に葡萄は大禁物である。りんご、梨、梅等一年生苗と称しても穗の部分が一年生で、砧木は殊に北海道で生産される苗木は三年生で、内地生産のものより充実しており、少々の乾燥には弱わらないが、葡萄の一年生苗は挿木なるため根部も一年生であればそれだけ乾燥に弱いのである。

なお信用のある良心的な苗木商は根部の乾燥防止に十分留意し濡糞、水苔等で被覆するも輸送に時日を要することであれば苗木到着後は直ちに荷ほどきし、一列に横伏し灌水、仮植するよう注意されたい。

一般に活着が悪いと称するものの状況を調査するところの、このような苗木の取扱いの悪

# 杏の栽培

しらはた牛

杏の栽培法は全く梅と同様である。簡単  
に要点だけ記することにする。

剪 剪定 「桜剪る馬鹿、梅剪らぬ馬鹿」の例があるようだ。梅杏は結果の習性により、すなわち今年出た枝に花芽が形成され、明年開花結果するため、短裁を多く一般に強剪定が行われる。

核果類であるから、開葉後はボルドー剤、硫酸銅剤を使用すると薬害により落葉のおそれがあるから硫黄剤あるいはダイセンを用い、害虫には各種の接触剤またD.D.T.あるいはB.H.C.等を使用する。なおB.H.C.は果実肥大後は散布しないこと。

品種杏和平

甘 杏 六〇円  
五〇円

三 植付け時に灌水不十分にして、植付け後旱魃にあつた場合。

いる所はなく、あまり品種も発表されておらず、満洲には蜜黃杏、韓老爺臉、大杏、梅、紅杏、桃杏、白大杏等多くの品種がある。

春植の場合、  
春植の場合北海道はとくに植付け時に風  
多く乾燥烈しいからとくに注意し、なるべ  
く苗木の根を露出させず、濡延をかけ、つ  
とめて乾燥を防止するようにされたい。

つた。(しかし異名同種) 同名異種を見られ  
た。わが国では平和杏、鏡台丸等名称付き  
の品種で多く苗木も育成され、優良品種と  
されており、その他日本杏、西洋杏とい  
う原名不詳のものも発表されており、北海道  
では甘杏、宮坂杏、大野杏等がある。

杏は樹勢強く、果実の色沢良好で、品質良く、大果豊産の系統を選択することが大切である。

杏の栽培法は全く梅と同様である。簡単  
に要点だけ記することにする。

栽培距離  
三間正方形植  
仕立法  
立木仕立。

• 15